

ご挨拶

- | | |
|------|--------|
| ①出身地 | ②研究内容 |
| ③趣味 | ④好きな言葉 |



就任のご挨拶

高橋 真 大学院医系科学研究科 保健学分野 生体運動・動作解析学 教授

- ①愛媛県 ②神経科学とバイオメカニクスの融合による立位姿勢・歩行を中心とした身体運動の制御・学習機序の解明 ③カメラ、ロードバイク ④人間万事塞翁が馬

この度、医系科学研究科（保）生体運動・動作解析学教授を拝命し、2019年4月1日付けで着任致しました。私は2001年に広島大学医学部保健学科理学療法学専攻（6期生）を卒業後、本学大学院医学系研究科保健学専攻を経て、2006年に本学大学院国際協力研究科教育文化専攻博士課程後期を修了しました。国立障害者リハビリテーションセンター研究所で博士研究員として、脊髄損傷者の歩行再建に関する研究に従事した後、2007年に本学助教として着任し、現在に至っております。

広島大学医学部保健学科理学療法学専攻は我が国で初めての4年制大学として1992年に設置され、もうすぐ創立30周年を迎えます。理学療法士を取り巻く環境は大きく変化し、本学もSPLENDOR PLAN 2017の下、変革を進めつつあります。諸先生方のご指導を賜りながら、母校である広島大学で、より一層研究と教育に邁進し、「創立50周年時にも世界で光り輝いている保健学科」の実現に尽力して参ります。



就任のご挨拶

田邊 和照 大学院医系科学研究科 保健学分野 成人健康学 教授

- ①広島県 ②胃癌集学的治療、メタボリックサージャリー ③旅行、映画 ④努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。

平成31年4月1日付けで、片岡 健教授の後任として広島大学大学院医系科学研究科 成人健康学の教授に着任いたしました田邊和照と申します。私は平成6年広島大学を卒業し、当時、峠哲哉先生が主宰されていた原爆放射能医学研究所外科（現 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科）に入局しました。その後、臨床では消化器外科の道に進み、平成15年学位を取得いたしました。当時はエビデンスに乏しかった胃がんに対する化学療法を中心とした集学的治療に興味を持ち、抗腫瘍機序に関するメカニズム解析などを行ってまいりました。平成20年9月より外科臓器別再編に伴い大段秀樹教授の主宰される先進医療開発講座外科学（現 医系科学研究科 消化器・移植外科学）に異動し、引き続き薬剤感受性や耐性メカニズムなどに関する研究を行いつつ、臨床面では腹腔鏡手術、ロボット支援手術など胃がんに対する低侵襲手術の普及に努めてまいりました。また、近年有用性が注目されている高度肥満症に対するメタボリックサージャリー導入のため多職種連携診療体制の構築にも努めてまいりました。

当教室では、成人健康障害、とくに急性期・クリティカルケア領域看護を担当させていただきます。これまで培ってきた経験を看護教育の場でも活かしていきたいと思うと同時に、今後ますます重要となってくると思われる多職種連携においても貢献していきたいと考えています。今後とも何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。